

国連ウィメン日本協会 おおさかニュース vol.9

発行：国連ウィメン日本協会大阪

発行：2026.4月



「どこかの誰か」への想像力と連帯が未来をつくる

瀬戸口 恵美子さん（国連ウィメン日本協会大阪 前理事）

私は1991年から34年間、太平洋人材交流センター（PREX）という財団で、途上国の行政官や、企業経営者の人材育成プログラムの企画・実施など、国際協力事業に携わってきました。

途上国の社会の安定と経済的繁栄は、地域や世界の平和に欠かせません。日本に暮らす私たちの日常も、今や世界の出来事と無関係ではありません。「どこかの誰か」の犠牲の上に成り立つ日常ではなく、世界中の人々が将来の夢を持ち、それを叶えられる環境であってほしい。そんな願いを胸に、仕事に邁進してまいりました。

一方で、これまでの業務を通してジェンダー平等へのアプローチが十分ではなかったのではないかと、という自戒もありました。だからこそ、2022年から国連ウィメン日本協会大阪の理事として活動に携わり、ジェンダー平等をテーマに日本や世界の実情を学び発信する機会を得られたことは、私にとって大変有意義な経験となりました。

これまでの活動の中で、強く印象に残っているのは、2023年4月に開催されたウクライナ

出身のバンドウーラ奏者、カテリーナさんによるチャリティコンサートです。彼女の美しい歌声とバンドウーラの音色、母国の平和を願う強い思いが会場を包み込み、連帯の輪が広がったあの瞬間は、今も胸に残っています。

あわせて印象深いのが、翌年2024年に開催された本会の設立20周年記念イベントです。女性差別撤廃の取り組み、賃金格差や差別の交差性などについて、困難に立ち向かい行動し続けている皆さまのお話から、情熱のバトンを繋ぎ、輪を広げることの大切さを改めて実感しました。



（左）2023年開催 チャリティコンサートの様子



（右）2024年開催 国連ウィメン日本協会大阪 20周年記念事業の様子

平和の根底に必要なのは、基本的人権の保障であり、「社会的弱者」とされる人々への差別や無配慮をなくすことです。「力」ではなく、対話と相互理解に基づいた関係を築くこと。それは特別なことではなく、私たちの日常の至る所で実現できるはず。異なる属性を持つ人々との交流を通じて「どこかの誰か」の存在に想像力を働かせ、連帯すること。その積み重ねこそがより良い未来を創ると信じています。

最後になりますが、活動を支えてくださった皆さま、そしてこれまでの素晴らしいご縁に心より感謝申し上げます。



国連ウィメン日本協会大阪 定例役員会の様子

▶ 「戦後80年 平和のために女性の声を今こそ」 2025年4月29日(火・祝)

主催：国連ウィメン日本協会大阪、クレオ大阪中央(大阪市立男女共同参画センター中央館) 会場：クレオ大阪中央

日本が戦後80年を迎えた2025年に、国連ウィメン日本協会大阪とクレオ大阪中央の共催によるイベントを開催しました。第1部では、朝日新聞大阪本社 社会部記者の花房吾早子さんによる基調講演、第2部では、花房記者と国連ウィメン日本協会大阪会長、三輪敦子とのトークセッションをおこないました。



基調講演では、花房さんが記者としての取材経験をもとに、ジェンダーの視点に立って、平和の実現に取り組む事例が紹介されました。例えば、2024年8月に広島で開催されたトークセッション「核問題とジェンダー」では、学生団体「GeNuine」が女性国会議員を招き、核兵器とジェンダーの関係について意見を交わし、「核兵器に関する意思決定の場に女性が少ないこと」をはじめとする、これまで注目されてこなかった視点が共有されました。

「もっと女性や若者の声を、核廃絶の現場に届けたい」と活動を続けるこの団体は、核兵器禁止条約の締約国会議にも参加するなど、国際的にも活発に発言してきており、国内外の平和運動において、注目を集める存在になりつつあると紹介されました。このほか、パレスチナ連帯デモでは性的マイノリティやトランスジェンダーへの差別など、紛争下で人権を奪われてきた歴史をもつ人たちの課題が、平和の課題と重ね合わせて発言されている様子も報告されました。

第2部のトークセッションでは、三輪会長より、2000年に国連で採択された「女性・平和・安全保障に関する国連安保理決議1325号」と採択25年目の現状についての報告がありました。

この決議は、①戦時性暴力の根絶と不処罰の防止、②平和構築・紛争予防・復興における意思決定に女性の声を反映させることの2点を柱としていますが、いずれも十分に実現されていない現状が指摘されました。単に女性の警察官やPKO要員を増やすだけでなく、実質的な政策決定への参加が重要であると強調されました。

あわせて、ノルウェーの平和学者ヨハン・ガルトゥングによる「積極的平和」と「消極的平和」の概念の紹介があり、戦争がない状態を「消極的平和」、暴力や差別がない状態を「積極的平和」と定義し、現在のように構造的な暴力が蔓延し平和が脅かされる社会は、非暴力の文化の構築こそが真の平和実現につながるのではないかと説明されました。

参加者からは、「民間人と兵士を分ける意味は何か」「戦争責任は男性だけのものか」などの問いも投げかけられ、熱のこもった意見交換となりました。

最後に三輪会長より、「女性の声をもっと政策に反映させなければならない。そのためには、一人ひとりが経験を語り、その声に耳を傾ける場を増やすことが必要」と力強く語られました。

本イベントを通して、平和とジェンダーが結びつくことで、「非暴力のカルチャー」に基づく積極的な平和が広がっていく可能性を実感し、また、戦争・平和・ジェンダー・人権について考えを深める時間となりました。



▶ 「じんけんシネマ2025」 2025年12月13日(土)

主催：クレオ大阪中央、ヒューライツ大阪 共催：国連ウィメン日本協会大阪 会場：クレオ大阪中央

ヒューライツ大阪とクレオ大阪中央主催の「じんけんシネマ2025」に共催団体として参加しました。今回は、紛争下の性暴力サバイバーで2018年のノーベル平和賞受賞者でもあるナディア・ムラドさんを追ったドキュメンタリー『ナディアの誓い』と、東京都杉並区長選に出馬し、政治分野に挑戦する女性の姿を追った『映画 ○月○日、区長になる女。』の2作品を上映しました。

『ナディアの誓い』には、「平穏な日常の尊さを感じた」「日本、そして自分に何ができるのか考えたい」などの声が寄せられ、壮絶な暴力にさらされた女性が勇気をもって声を上げ社会を変えようとしている姿に多くの参加者が深く感銘を受けました。『映画 ○月○日、区長になる女。』には、「何かを変えたいという一人ひとりの思いが集まり、力になることに勇

気もらった」「政治は変えられると希望を持った」といった感想が寄せられ、女性の政治参加を考える機会となりました。本イベントは、今回で8回目を迎え、「毎年楽しみにしています」といった声もいただいています。国連ウィメン日本協会大阪としても、継続開催の意義を改めて実感しました。当日は当協会の活動紹介も行い、募金へのご協力もいただきました。温かいご支援に心より感謝申し上げます。



▶ 「パネル展示、ブース出展」

2025年6月28日(土) 11月15日(土) 12月13日(土)
会場：クレオ大阪中央

クレオ大阪中央で開催された、地域のおまつりや、じんけんシネマ2025にて、当協会の活動を紹介するパネル展示・ブース出展を行ないました。当日は、来場者の方々にお立ち寄りいただき、国連ウィメンの取り組みやジェンダー平等の重要性について、広く知っていただく機会となりました。今後も、地域に根ざしたイベントへの参加を通じて、ジェンダー平等の実現に向けた取り組みを発信してまいります。



2025年度、募金及び会費収入は、194,730円でした。
温かいご支援とご協力をありがとうございました。

2025年度、「会費」及び「寄付金」納入者一覧（2025年1月1日～12月31日）
*お名前公表を承いただいた方のみ、掲載させていただいております。（五十音順に掲載）

伊藤 裕美 様	加藤 佳津子 様	佐々木 邦子 様	根来 敦子 様	森屋 裕子 様
井山 稜子 様	加藤 麻理子 様	沢田 薫 様	榛木 恵子 様	山内 千鶴子 様
上杉 孝實 様	木下 孝祐 様	瀬戸口 恵美子 様	藤原 劭子 様	山本 愛 様 他
大阪市地域女性団体協議会 様	黒台 裕子 様	田村 まき 様	堀口 節子 様	
大阪Iゾンタクラブ 様	小畑 和美 様	合同会社つむぐの森 様	堀口 良子 様	
小原 純子 様	近藤 眞千子 様	中村 友美 様	松村 英子 様	

上記の募金及び会費収入やその他の収入を合わせて、国連ウィメン日本協会への拠出金やイベント事業費、ウクライナ支援募金、ガザ支援募金に活用させていただきました。

report

2026年3月7日(土)

ネットワーク会議に参加しました。

東京で開催された「国連ウィメン日本協会 協力協定団体ネットワーク会議」に参加しました。会議には、大阪のほか、東京、北九州、さくらの協力協定団体が集まり、2025年度の活動報告や2026年度の事業展開について発表が行われました。各団体の発表後の意見交換では、団体の認知度向上や広報の重要性、地道な活動の積み重ねが支援につながる意義について共有されるとともに、会員の確保や、役員の担い手の確保といった課題も挙げられました。また、各団体からセミナーや映画祭など多様なイベントを通じて支援につなげている工夫についても聞くことができ、今後の活動に活かせる多くの示唆を得ることができました。他団体と直接交流する貴重な機会となり、それぞれの取組に刺激を受け、今後の活動への励みとなる有意義な時間となりました。



新理事紹介

このたび、国連ウィメン日本協会大阪で理事を務めさせていただくことになりました。長く大阪市役所で、主に生涯学習・社会教育や学校教育行政に携わり、こどもの貧困対策など人権問題にもかかわってまいりました。また、クレオ大阪で勤務したこともありました。2024年に退職後は、子どもたちの健全育成や生涯学習に関する事業を行っている一般財団法人大阪教育文化振興財団に勤務し、キッズプラザ大阪の館長も務めております。これまで、私自身は広く世界の女性たちの現状に目を向ける機会はありませんでしたが、長く続くウクライナへの侵攻など、今も世界各国で続く武力紛争により、女性たちが置かれている状況に思いを馳せると、ジェンダー平等への道りはまだまだと感じずにはいられません。世界の女性たちのエンパワメントに向け、皆さまとともに学びながら、まずはできるだけ多くの方に知っていただけるよう、できることから取り組んでいければと思っておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。



一般財団法人大阪教育文化振興財団
専務理事 飯田明子さん

世界の女性とつながろう

国連ウィメン日本協会大阪 入会案内

国連ウィメン日本協会大阪は、女性のための国連機関であるUN Womenを大阪から支援する団体です。皆さまからの募金、及び活動の純益は、UN Womenを通じ、世界の女性と少女のために使われます。

会員募集

年会費(1月1日～12月31日)

個人会員：1口 2,000円 以上

団体会員：1口 5,000円 以上

寄付金、年会費の振込先

ゆうちょ銀行振替口座

口座記号番号：00900-9-207691

加入者名：国連ウィメン日本協会大阪

世界の女性と少女の笑顔と未来を
大阪から支えるために、
是非お力をお貸しください！



会員の皆さまには、各種お知らせ、イベントのご案内等をお送りいたします。

国連ウィメン日本協会大阪 事務局

〒543-0002

大阪市天王寺区上汐5-6-25

一般財団法人 大阪男女いきいき財団内

TEL：06-7656-9040 FAX：06-7656-9045

HP：https://danjo.osaka.jp/unwomensaka/

